



ごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。平成さいごの年末年始をいかがお過ごしになられたでしょうか。

今年は西暦でいえば2019年です。来年2020年には東京オリンピックが開催されると思うと、少し戸惑いも覚えます。さて、更にその先、6年後には団塊世代の方々がすべて75歳以上となる2025年を迎えます。後期高齢者の人口がピークを迎えるため、社会保障制度がそれに耐えうるのかという観点で、「2025年問題」と呼ばれています。私はここ数年お正月を迎えるたびに、2025年問題に対して、今年は何に手をつけるべきなのだろうかと考えています。これは国、地方自治体、そして全国の医療介護事業者も日々対策を考えているのですが、なかなか解決の糸口、模範解答が見いだせない思いがします。

私たちが暮らしている武蔵野地域（武蔵野市・小金井市・三鷹市など）は、推計によれば地方都市に比べて人口の減少は比較的緩やかであり、生産労働人口比率の減少も同様といわれています。また地方都市に比べ、高齢者の医療介護ニーズの上昇勾配も同様に緩やかであり、ピークも2045年頃あたりにあると見積もられています。一方地方都市では医療介護ニーズのピークを武蔵野地域よりも早く迎えます。言い換えれば、武蔵野地域は地方都市に比べ、きたる医療介護ニーズの増加に対し、備える時間は多少はあるけれども、逆に長い期間、そのニーズに对应していかなければならないということになります。

高齢者の医療介護ニーズを支える対策の根幹となるのが、2014年に国が初めて提唱した「地域包括ケアシステム」です。地域包括ケアシステムの概念は、「何らかの支援があれば高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を続けられる町づくり」であります。大切なのは「町づくり」であり、全国共通の模範解答になるような画一的なモデルはないということです。ですから武蔵野は武蔵野らしい地域包括ケアシステムを構築する必要があります。

地域包括ケアシステムは医療・介護・生活支援が三位一体となり構成されます。ここでいう生活支援は、例えば行政やNPO法人などが、高齢者の方々にとって安心して集える場所・機会を創ることや、元気な高齢者の方々を含む地域の皆さんがボランティアとして地域のコミセン、病院や介護施設等で支援の必要な高齢者の方々に関わっていくことなどを指します。私たちの法人でも養成を行っている地域支援サポーターも生活支援を担う重要なボランティアであります。話を元に戻しますが、これら医療・介護・生活支援がお互いに信頼し、強力な連携を構築することが地域包括ケアシステムを機能させるうえでとても大切になるのです。

言うは易く行うは難しですが、新春でもありますし大きな夢「私たちは地域包括ケアシステムを担う先進組織になろう」を抱いて今年も私たち天誠会は頑張っていきたいと思います。どうぞ今年もよろしくお願い申し上げます。最後に皆様のご多幸をお祈りし新年のご挨拶とさせていただきます。

一般財団法人天誠会 理事長 天野 英介



本号の目次

1面 新年ごあいさつ

2面 新年の抱負

3面 定時理事会の報告
公開講座のご案内

4面 事業所短信

一般財団法人天誠会

あんずクリニック

あんず苑

小金井あんず苑

理事長

副院長

副施設長

副施設長

天野 英介

本多 慎

今井 研二

小川 力信

・武蔵境病院、あんずクリニック
・小金井あんず苑
・事業本部





新年の抱負

新年の招”福”ということで、各事業所の”副”リーダーに今年の抱負を語ってもらいます。

あんずクリニック副院長 本多 慎



明けましておめでとうございます。あんずクリニック副院長の本多です。

昨年は整形外科・内科・皮膚科の統合再編、西棟リハビリ室増設そして物療室移設がありクリニックにとって大きな変換を迎えた一年でした。クリニック開業以来初の大事業ではありましたが、患者様にもご協力いただき無事に乗り越えることができました。（私個人的には、この大事業を乗り切る気合いと覚悟を練る為（？）元々稽古していた合気道の他に剣道も始めました。）

このように昨年は大変な一年ではありましたが、それを乗り越えた事で患者様へより良い医療サービスを提供できる体制を構築することが出来ました。特にリハビリテーション科は外来クリニックとしては充実の理学療法士 10 名体制となっています。この運動器リハビリテーションの充実ぶりはあんずクリニックの特色の一つになっています。本年はこの体制で患者様へより良い医療サービスを提供できるよう天野秀介院長の下スタッフ一同精進してまいります。皆様引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

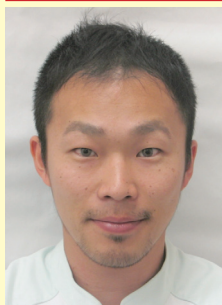
あんず苑副施設長 今井 研二



新年あけましておめでとうございます。あんず苑・あんず苑アネックス副施設長の今井です。昨年は 4 月に介護報酬改定があり、介護老人保健施設の在り方を見直す一年となりました。あんず苑・アネックスにおいては老健の本来の機能である「在宅復帰」により力を入れ、利用者様がスムーズに在宅に帰ることができるようリハビリスタッフを増員し、医療・介護・リハビリが連携して質の良いケアを提供してまいります。法人理念にあるように、地域の方が住み慣れた場所で元気に楽しく暮らしていけるよう、リハビリだけでなく様々な行事を企画し、ボランティア・サポーターの方々のご協力を得ながら「楽しく元気に」をモットーに日々のケア行い、介護の人材不足などの報道もありますが、それをふきとばすぐらい明るい笑顔で利用者様と笑って過ごすことができる一年になると信じております。

私事といたしましては楽しく仕事をして、大好きなお酒を 365 日呑むことを今年の目標に頑張りたいと思います。伊波施設長と共に職員一同より一層の努力をしてまいりますので今年もよろしくお願い申し上げます。

小金井あんず苑副施設長 小川 力信



皆様、あけましておめでとうございます。

小金井あんず苑は 2 1 年目を迎えましたが、施設長の交代など、昨年は変化の大きな一年でした。しかしながら変わらずに質の高いサービスを継続出来ているのは、地域の方のご支援の賜物です。厚く御礼申し上げます。

私からは、昨年から特に力を入れていた活動の 1 つをご紹介します。施設入所サービスでは入所や退所の際、理学療法士や作業療法士が直接ご自宅にお伺いして、ご本人の生活上の課題を確認させて頂き、それぞれの自宅状況にあわせてリハビリ内容をご提案したり、在宅に戻られてからも安心して過ごせるように、専門職からご家族にご助言させて頂いております。

また、通所サービスでは身体機能維持向上の為の機能訓練を実施するだけでなく、生活上の課題について管理医師からの指導や、理学療法士がより実践的でニーズに合ったリハビリメニューを提供できるよう支援しております。

このように小金井あんず苑では、在宅復帰だけに留まらず、在宅支援にも力を入れてまいりました。ご利用者を家にお帰しするだけでなく、その後の継続した在宅生活の中で途切れない支援を提供できるよう、職員一同全力で邁進しております。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

第 23 回定時理事会が開催されました

一般財団法人天誠会は、定款に則り、去る 12 月 20 日に、第 23 回定時理事会を開催しました。本理事会の主たる議題は、平成 30 年度の上半期の事業報告でした。審議事項については、賛成多数により可決されたことをお知らせします。

平成 30 年度上半期・天誠会事業報告

稼働状況

武蔵境病院	外来患者数 105 名 / 日	入院稼働率 94%
あんずクリニック	外来患者数 166 名 / 日	
あんず苑	通所リハ 24 名 / 日	入所稼働率 97%
アネックス	通所リハ 15 名 / 日	入所稼働率 96%
小金井あんず苑	通所リハ 47 名 / 日	入所稼働率 90%

財務状況

法人全体の上半期の収入	1,128 百万円 (前年比 + 9%)
-------------	----------------------

一般財団法人 天誠会 地域貢献事業



2018 年度 公開講座 予定表

日時	場所	講座内容	講師	申し込み
1/26(土) 13:30 ~ 15:30	老健小金井あんず苑	高齢者の生活について	老健小金井あんず苑 地域貢献担当	受付中
2/6(水) 15:00 ~ 16:00	武蔵野スイングビル (スカイルーム 1)	加齢に伴う誤嚥(ごえん)の 基礎知識と予防	武蔵境病院 リハビリ室	受付中
3/30(土) 15:00 ~ 16:00	武蔵野スイングビル (スカイルーム 1)	スポーツ障害予防講座	あんずクリニック リハビリ室	受付中

<お申込み方法> ※会場の都合により、申込多の場合、ご希望に沿えないことがあります。ご了承ください。

1) 電話の場合 平日 10:00 ~ 16:00 0422 - 52 - 1345 へお電話ください。

2) FAX の場合 0422 - 55 - 2564 へ、FAX をお送りください。各事業所の受付に用紙をご用意しています。

<会場について>

武蔵野スイングビル / JR 武蔵境駅 北口 または nonowa 口 より 徒歩 1 ~ 2 分
老健小金井あんず苑 / 武蔵小金井発府中行きバスにて『東京自治会館』下車 徒歩 1 分

事業所短信

【武蔵境病院・あんずクリニック】

インフルエンザの予防接種につきましては、今シーズンも製薬会社からの入荷が滞り気味で、皆さまにご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。当法人の今シーズンのワクチン入荷は終了しております。ワクチンの在庫がなくなり次第、受付も停止します。ワクチンの残数については、武蔵境病院またはあんずクリニックの受付へ問合せください。

【小金井あんず苑】

小金井あんず苑のホームページをリニューアルしました。老健といえますと、縁のない方には、どういう施設なのか分かり辛いこともあると思います。下記までアクセスしていただき、小金井あんず苑がどういう場所なのか、理解を深めてくださいますよう、よろしくお願いします。

<https://tenseikai.jp/koganei/>

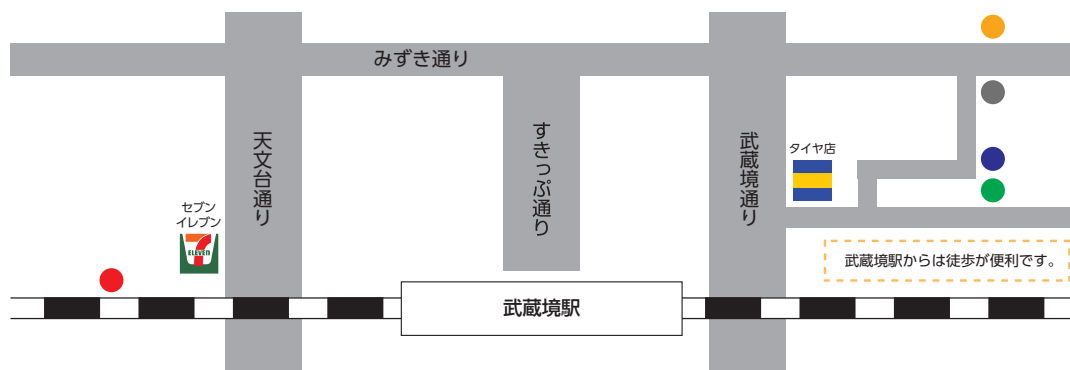
【事業本部より】

公開講座につきまして。2018年度の講座は、残すところ3回となりました。2019年度の講座については、年度が変わりまして、5月頃にはご案内を開始できると思います。しばらくお待ちくださいますよう、よろしくお願いします。



編集後記

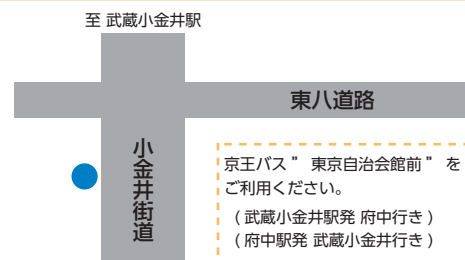
昨年春に行った定期健診の結果が思わしくなく、院長から直々に「おまえ、このままじゃまずいよ」と脅されました。その日の内に、内分泌専門外来を受診し、とにかく減量することに決めました。正直に伝えると、聞く人から引かれてしましますが、結果として約半年間で25キロの減量に成功し、血液の各種数値も概ね正常値となりました。今後は、この体型を維持していくことに努力したいと思います。ただ、減量すると洋服をすべて買い替える必要があり、お金もかかりました…（きたむら）。



● 事業本部 / 総務部	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-18-6	TEL. 0422-52-1345
● 武蔵境病院	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-18-6	TEL. 0422-51-0301
● 介護老人保健施設 あんず苑	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-18-5	TEL. 0422-36-6262
● 介護老人保健施設 あんず苑アネックス	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-19-20	TEL. 0422-36-3655
● あんず苑訪問看護ステーション	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-19-20	TEL. 0422-36-3666
● あんずケアプランセンター武蔵野	〒180-0022	東京都武蔵野市境 1-19-20	TEL. 0422-36-6565
● 武蔵境病院附属 あんずクリニック	〒180-0023	東京都武蔵野市境南町 4-1-15	TEL. 0422-50-9770
● 病児・病後児保育室 プチあんず	〒180-0023	東京都武蔵野市境南町 4-2-27	TEL. 0422-50-9774

● 〒184-0013 東京都小金井市市原町 5-3-24

介護老人保健施設 小金井あんず苑	TEL. 042-388-7511
グループホーム 杏の家	TEL. 042-388-7523
あんず苑訪問看護ステーション サテライト小金井	TEL. 042-388-7521
あんずケアプランセンター小金井	TEL. 042-388-7531
あんずホームヘルプサービス小金井	TEL. 042-388-7532
小金井みなみ地域包括支援センター	TEL. 042-388-8400



ホームページ



法人本部・介護・地域貢献
武蔵境病院
あんずクリニック
小金井あんず苑

<https://tenseikai.jp/>
<https://tenseikai.jp/sakai-hosp/>
<https://tenseikai.jp/anzu-clinic/>
<https://tenseikai.jp/koganei/>